

ポカポカ陽気の3月例会は25名が出席、 谷川雪上訓練の机上講習と早春の会山行を話し合う

学習は「雪山へのお誘い」…これから雪山をめざし楽しむために（講師：南雲さん）
「3月例会の学習は、”雪山への誘い”と題して、3月31日に予定している谷川岳で予定している雪上訓練に向けて実施されました。講師は、わが熊トレが誇る鉄人・南雲芳夫氏であります。

雪山の魅力から始まり、その美しさ、厳しさ、危険さを体験を交えて戴き、雪山での生活技術、靴の選び方、ウェアの工夫、最近の新しい素材、そしてピッケル、アイゼンの使い方をその豊富な知識と経験を元に楽しく話してくれました。これで、実際の雪上訓練が楽しみになりました」（感想：大嶋記）

2007年雪山訓練in谷川岳の計画概要

- 目的 雪上訓練、雪稜の登高
- 行程 2007年3月31日(土) 日帰り
熊谷市役所(5:30)＝谷川岳ロープウェイ(7:30)＝天神平～天神尾根斜面
午前9時～12時(午前の部)／午後1時30分から午後3時(午後の部)※訓練終了予定
- 訓練内容
 - 弱層テスト…各自、スコップで実際に弱層テストを行い、体感する。
 - ビーコン捜索法の実習…1月例会で行われたビーコン捜索法の雪上での復習、ゾンデの操作の実際を行ってみる。
 - 雪上歩行の基本(固い雪、急な雪面などで転倒・滑落しない歩き方)…
 - ・アイゼン歩行／・わかんでの歩き方／・ピッケル操作の基本／・滑落停止
 - ザイルで確保しての難場を素早く安全に方法…
 - ・スタカットによる確保、腰がらみ、ピッケルを支点とした確保方法
 - ・コンティニューアスによるザイルで結び合いながら、歩行する訓練
 - 緊急用ビバーク用の雪洞掘り
- 参加者
L 浅見&南雲 山崎、八木、並木、吉田、逸見、大嶋、高橋、石川、駒崎、朽原、宮田、木村

‘荒川を遡ろう’ [Part. 5] の日程について

昨年9月に荒天で延期となった荒川遡行最終パートについて、6月2日(土)3日(日)を絡めた日程を考えています(6月2日に甲武信小屋集中となる)。ルートについては、昨年計画した川又集落から～ ①真の沢登り ②柳小屋～十文字峠経由 ③雁坂峠経由 ④金峰山～国師岳経由 ⑤西沢溪谷～戸渡尾根経由、のほか、初夏の花を楽しむルートなども考えられると思います。例会で提案をお願いします。

2007年度埼玉県連盟理事に木村さんが選出されました～第40期定期総会報告

3月25日(日)に北浦和労働会館で開催された県連総会の議事などの報告をします。

・**新保険業法改悪に伴う遭対基金について**…2008年3月末までの少額短期保険業登録期限までに新たな基金の枠組みを決めなければならない。基金積立金による全国&県連における遭難対策活動助成の一般財源化井、その他の遭難救助費用、入院給付等を民間保険会社と団体契約する。この場合の給付水準の引き下げは、日山協での例からみて免れない状況である。

・**会員拡大について**…埼玉県会員数が2001年;743名をピークに2007年;594名と1997年と同程度に減少。財政面からみても大きな問題、会員の伝手やHPなど媒体を活用して仲間を増やそう。

・**登山学校について**…昨年度年間受講者12名+スポット受講者数名。年間を通して登山の知識技術を学べる場、安全登山のための学習は絶対に必要。基本的な知識や技術習得のため、各団体で受講者の選出努力をお願いしたい。年間受講者17名未満では運営費用は赤字である。

※別添の第12期募集チラシを参照

・**第7回女性と登山全国集会について**…6/23～24に秩父市農園ホテルで開催。成功に向けて、女性のみならず各会からの協力、参加呼び掛けをお願いしたい。

・**県連創立40周年記念埼玉山7エスタ(安全登山講演と交流集会)**…9/29～30に旧吉田町げんき村で開催。各会から運営委員1名輩出して実行委員会を行う。2007末までに記念誌発行予定。

・**県連ホームページについて**…実務担当者不在のため、一時閉鎖となる見込み。

・**第40期理事について**…大嶋理事退任に伴い、同人から木村さんを推薦し、承認されました。<県連関連主な行事日程>遭難防止安全教育担当者会議5/20(日) ■ ■ クリーンハイク5/27(日) ■ ■ 評議会6/17(日)&1/20(日) ■ ■ 女性全国集会6/23(土)24(日) ■ ■ 埼玉山7エスタ9/29(土)30(日) ■ ■ 県連総会3/30(日) (報告者:宮田)

山岳遭難の‘ヒューマンエラー’について考えてみましょう

岳人4月号の特集『遭難はなぜなくなるのか?』で、冒頭「人はミスする。ついうっかり…、わかっていたんだけど…、日ごろの暮らしではよくあること。しかし、そのうっかりが山では重大な結果をまねくことがある。どうすれば人はミスを防げるのだろうか」と提起し、事件事例として、昨年4月9日に起きた五竜岳小遠見尾根一ノ背髪北方(村尾根)での雪崩事故を取り上げています。そのなかで、メンバーの行動などを詳細に検証し、遭難に至るまでに数々のヒューマンエラーが潜んでいることを指摘しています。(1/7八甲田でもあったと思います)

このパーティ12名は同じ宿に泊まったメンバーで構成され、それ故に明確なパーティ意識がなくリスクマネジメントがなされなかった。但し、記事によれば雪崩が起きた後の救助では冷静な対応が行われ、逆に参考とすべき点もあります。無事であったメンバー同士の連絡手段として小電力トランシーバーと携帯電話を使い、救助要請の位置特定に携帯内蔵のGPS位置情報をサポートセンターから直接警察に連絡入れたことなど。第一特集では中高年登山者の体力維持と向上の工夫、意識の問題にも触れています。是非、読んでみてください。

『ヒューマンエラー遭難を考えるためのキーワード』は、登山にもあてはまることが多い

- **社会的同調行動**…みんなが大丈夫だと思っていると感じていると、一人一人が危ないと思っても言い出しにくい。ここはみんなに合わせて、あえて反対しない心理が働く。
- **集団意志決定のリスクシフト**…大勢で話し合っって意志統一するとき、一人一人の判断よりも危険な方向に決定がシフトするという現象。
- **権威勾配**…上司と部下のように権威に傾きのある関係。上司の間違いを部下が指摘できずに事故につながるケースを防ぐため、職場(飛行機コックピットが代表的)などで間違いを正せるよう自由に発言できる雰囲気作りを進めている。但し、最終的判断は上司(リーダー)が下すべきであり、権威勾配の適切なバランスとリーダーシップが大切である。
- **危険予知トレーニング**…どこに危険が潜んでいるか、具体的な状況を例にグループディスカッションして洗出し対策を考える。登山では1日の始まりにリスク確認と意思統一に当たる。
- **リスク・ホメオスタシス**…技術向上や用具進歩によって安全の度合いが上がっても、人は安全の目標水準があり今までと同じリスクを受け入れてしまう。車の運転がわかりやすい。

当面の会山行計画

- 1 春爛漫・南房総、鋸山ハイキング** [計画者:石川]
日 程: 4/4(水) 熊谷=東京=浜金谷~(車力道)~鋸山~日本寺境内散策~浜金谷
参加者: L 石川 高野、八木、川辺、高橋、駒崎
- 2 MTB漕いで至仏山ワンデイ<中級>** [計画者:木下]
日 程: 4/8(日) 戸倉~津奈木橋~鳩待峠~至仏山~山ノ鼻~鳩待峠~戸倉
参加者: 宮田、木下
- 3 西上州・三岩岳、大津ハイキング《見える山》** [計画者:山崎]
日 程: 4/平日山行 詳細は例会でお知らせします
- 4 春の稜線を滑る・上越朝日岳山スキー<上級>** [計画者:木下]
日 程: 4/14(土)~15(日) 土樽~蓬峠~清水峠(泊)~朝日岳~ナルミス沢~布引山~宝川
参加者: 宮田、木下
- 5 西上州・三段の滝、大岩《見える山》** [計画者:軽石] 2.5万円/十石峠
日 程: 4/22(日) 下仁田IC=南牧村滝入口~三段の滝~碧岩沢出合~大岩~往路を戻す
参加者: L 軽石 新井、軽石
- 6 世界遺産・熊野古道、中辺路コースを巡る** [計画者:吉田]
日 程: 4/24(火) 熊谷=新大阪=紀伊田辺=滝尻王子(民宿泊)
25(水) 滝尻~高原熊野神社~大坂本王子~継桜王子(民宿泊) 歩行6.5h 18km
26(木) 継桜~湯川王子~猪鼻王子~熊野本宮=湯の峰温泉(泊) 歩行7h 22km
27(金) 湯の峰温泉=観光=新宮=名古屋=熊谷
参加者: L 吉田 高野、山崎、八木、堀、白根、栗原、大嶋、逸見、高橋、篠崎(会員外)
- 7 GW山スキーPart 1・鳥海山<初中級>** [計画者:大嶋]
日 程: 5/3(木)~5(土) ①湯ノ台コース、②鉾立コース 山麓の湯ノ台バンガロー泊
参加者: CL大嶋 SL石川 川辺、駒崎、木村
- 8 GW山スキーPart 2・北アルプス水晶岳<上級>** [計画者:宮田]
日 程: 5/3(木)~6(日) 新穂高~双六(泊)~黒部源流(泊)~水晶岳~双六(泊)~下山
参加者: 宮田、木下
- 9 県連北部ブロッククリーンハイク・武甲山《見える山》** [計画者:環境考委・駒崎]
日 程: 5/27(日) 浦山口橋立鍾乳洞7:30~長者屋敷の頭鞍部~御嶽神社~展望台~下山

<その他のハイク計画>

- 5/18(金)~20(日) 近畿百名山・大台ヶ原、大峰山(大嶋)
- 5/20(日)~21(月) 那須三斗小屋温泉と新緑の那須連峰(木村)
- 6/上中旬 丹沢、鍋割山頂で鍋焼きうどんを舌鼓む(八木)
- 6/上中旬<平日> ツツジの山・日光、泣虫山(並木)
- 6/9(土)~11(月) 南九州百名山・霧島岳、開聞岳、祖母山(軽石)

<その他の山スキー計画>

- 4/下旬 富士山<上級>《見える山》(南雲) 5/中旬 飯豊・石転び沢<中上級>(宮田)

10 故村越会長7回忌法要&インドヒマラヤトレッキング [計画者:福田、大嶋、栗原]

日 程 : △先発隊7/26(木)or29(日)~ △後発隊8/5(水)→→→帰国8/13(月)※今後決定
参加者 : 高野、加藤、藤井、並木、白根、栗原、逸見、高橋、大嶋、豊島、福田、橋上&花輪(会員外)

次回例会のお知らせ

4月7日(土) 午前9時30分~ 市民ホール

学習:「熊谷から見える山」<講師:新井>

当面の日程等

- ・5月例会 5/12(土)15:30~市民ホール 学習:「安全登山・事故から学ぶ」(講師:県連から派遣予定)

入会者のお知らせ

- ・栗原昌史さん

同人ホームページに公開中の「八甲田山雪崩埋没事故報告書」に対する 地元青森山岳関係者から感想が寄せられたので、その全文を紹介します

地元の山を中心に、45年程、季節を問わず山行をしているボランティアガイドの一人です。「八甲田山雪崩埋没事故報告書」を興味深く何べんも繰り返し読みさせていただきました。八甲田山を知り尽くしていると錯覚に陥りがちな仲間たちへ、常々苦言や警告を発しているものの一人ですが、「貴団体の報告書」が、酸ヶ湯温泉ガイド達に読まれていたならば、もっと違った結果になっていたのでは、と思われてなりません。

雪崩は、条件さえ整っていると起こりうることです。誰もが、生命をかけてまで挑戦しようとは思っていないはずですが、つい先日(2/14)の八甲田雪崩事故については、いろいろと考えてしまう事が多くあります。(正確な情報を得られるよう努力している最中)

そこで、この報告書の存在を、私たちの仲間に、少しでも活かせるよう、勝手ながら知らせることにしました。ご了承いただければ幸いです。

冷静な速やかな現場での行動と、詳細な記録の公開に敬意を表すると共に、心から感謝を申し上げます。貴団体のご発展を祈念申し上げます。

八甲田ボランティアガイドクラブ 代表 平井憲治

※「八甲田ボランティアガイドクラブ」は、30年ほど前から組織された民間の団体です。現在は、学術・研究的、教育的、自然保護的活動、及び八甲田山に関する情報提供や山行計画に対するアドバイス等の支援活動のみで個人ガイドは実施していません。

拝啓 前略

青森市にあります、登山用品販売のKIWI&ATCスポーツ店の代表取締役の横浜慎一と申します。「2007.1.7八甲田山雪崩埋没事故報告」を拝見いたしました。実に、素晴らしい報告書で、無事でなによりです。

さて、2月に起こった、八甲田山前岳雪崩事故で県内に住んでいるバックカントリー系の方々が動揺しています。なぜ、あの事故が起きたのか?いまだ、酸ヶ湯温泉のガイドからの事故報告が無く、これらの方々が沢山店にきて愚痴を言っているしだいです。

そういうなか店のオブザーバーから、熊谷トレッキング同人の方々の八甲田山雪崩埋没事故報告をネットで見つけ、教えていただきました。この報告書を勝手ながら来店するお客様方に教えました。お客様方も、「凄い!」「素晴らしい」と話し、話題となっています。このことを踏まえ、勝手ですが店のホームページ内にある、私の日記に熊谷トレッキング同人のホームページを紹介させていただきました。本来事前に連絡し、許可をいただきましたのですが、事故報告書のあまりの素晴らしさにすぐに記載してしまいました。まことに申し訳ありません。もし、不都合がありましたらご連絡ください。

この事故報告書をもとに、これから八甲田山に入る人達に八甲田山の雪崩の怖さや対策を店側として教えていかなければならないと思っています。

「2007.1.7八甲田山雪崩埋没事故報告」は、八甲田山好きの県人の方には、刺激があり良い報告書でした。ありがとうございました。 敬具

KIWI&ATCスポーツ 代表取締役 横浜慎一

HP <http://atc-sports.kozzy.net/atc/displaypage.do>